

平成17年5月19日

各位

会社名	株式会社グローバルス
代表者名	代表取締役社長 久永 真一
コード	3528 東証2部
問合せ先	執行役員総務部長 田中利久雄
電話番号	03-3470-8411

法定準備金の取り崩し、ならびに資本減少による欠損金の一掃
に関するお知らせ

当社は、平成17年5月19日開催の取締役会において、平成17年6月28日に開催予定の第104回定時株主総会に、下記のとおり、利益準備金および資本準備金の取り崩し、ならびに資本減少の各議案を付議することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 法定準備金の取り崩し、ならびに資本減少の目的

当社は、平成3年度に自己資本を投下して不動産賃貸事業へ進出、事業は堅調に推移してまいりました。しかしながら、その後不動産市況の変化もあり、資産構成の健全化のため平成17年3月期に「固定資産の減損に係る会計基準」を早期適用し減損処理を行った結果、多額の損失を計上いたしました。

一方、主力のマンション分譲事業は順調に進捗して業績の向上に寄与しており、次期以降も収入収益の拡大および事業基盤のさらなる強化が見込まれます。

このような状況を踏まえ当社は、次期以降の配当および資本政策などを円滑に遂行するため、減損処理を主因とした損失について、法定準備金の取り崩しによる処理を行うとともに、資本減少による欠損金の填補ならびに「その他資本剰余金」への繰り入れも行い、資本構成の適正化も図る所存であります。

2. 法定準備金の取り崩し、ならびに資本減少の内容

平成17年6月28日開催予定の第104回定時株主総会の議案として、次のとおり、付議いたします。

(1) 利益準備金および資本準備金の取り崩し

減少する利益準備金および資本準備金の額

損失処理案として、利益準備金 18,000,000 円および資本準備金 3,800,127,711 円の全額を取り崩して損失の処理に充てる予定であります。

なお、同処理案として、任意積立金 800,000,000 円も全額取り崩して損失処理に充てる予定ですが、しかし繰越損失として 2,342,543,026 円が生じる予定であります。

利益準備金および資本準備金取り崩しの日程

- ・取締役会決議日 平成17年5月19日
- ・定時株主総会決議日 平成17年6月28日(予定)

(2) 資本の減少

減少すべき資本の額

当社の資本の額 10,330,000,000 円を 9,330,000,000 円減少して、1,000,000,000 円とする予定であります。

資本減少額のうち、欠損の填補ならびに「その他資本剰余金」に繰り入れる額

資本減少額 9,330,000,000 円のうち、2,342,543,026 円を欠損の填補に充て、繰越損失を一掃するとともに、残額 6,987,456,974 円は「その他資本剰余金」に繰り入れ、内部留保とさせていただきます。予定であります。

資本減少の方法

発行済株式総数の変更は行わず、また払い戻しを行わない無償の減資とし、資本の額のみを減少する方法といたします。

資本減少の日程

- ・取締役会決議日 平成17年5月19日
- ・定時株主総会決議日 平成17年6月28日(予定)
- ・債権者異議申述最終期日 平成17年8月9日(予定)
- ・効力発生日 平成17年8月10日(予定)

なお、この度の損失の処理ならびに繰越損失を一掃するなどの資本減少は、「資本の部」の勘定の組み替えであり、また現金等の支出を伴わない無償の形式的資本減少であります。

従いまして、当社の純資産額につきましては、増減の発生は一切なく、また株主さまのご所有株式数にも変更はありません。

以上

< 参考 >

法定準備金の取り崩しおよび資本減少の概要

(金額単位：千円。千円未満は切り捨てて表示しております。)

	17年3月期	資本の部 組み替え		資本減少後
	期末残高	損失処理 (準備金取り崩し)	資本減少 (繰越損失一掃等)	残高(予定)
資本金	10,330,000		9,330,000	1,000,000
資本剰余金				
資本準備金	3,800,127	3,800,127		
その他資本剰余金	-		6,987,456	6,987,456
利益剰余金	6,142,670			
利益準備金	18,000	18,000		
任意積立金				
別途積立金	800,000	800,000		
当期末処理損失	6,960,670	4,618,127	2,342,543	
その他有価証券評価差額金	4,993			4,993
自己株式	89,766			89,766
資本合計	7,902,684	0	0	7,902,684

以上